

第四章 国作りは教育から

世羅高校の校長自殺

一九九九年（平成十一年）二月二十八日

広島県の立世羅高校の石川敏浩校長58才が自殺した。卒業式で君が代を歌う歌わないで、日教組と亘り合い、教育委員会と組合の間で苦しんだ挙句の果て、死を選んだのである。

日教組は日の丸、君が代は法律で定めていない。だから国旗国歌とは認められないと言う。

確かに法律で制定されていないが、日本古来より日本人の心の中に現実に定着しているのではないか。かつて世界の各種スポーツ大会に於いて（古橋広之進）日の丸の掲揚に涙した日本人は多い。日の丸、君が代は日本人としての証しであり誇りである。それをかたくなに日教組は何故拒むのか。

何事も規約や条約や、法律さえ作れば完全に守れると言うのか。制定やルールがあっても守らない人、自己本位の自由主義時代真つ盛りではないか。今回の校長の死を無駄にすることなく、お互いが反省し教訓とすべき事件であった。

その後 平成十一年八月九日

日の丸、君が代が国会で国旗、国歌に制定されたので追記する。

日教組民主国家実現は

二〇〇一年（平成十三年）一月二十七日

日教組民主国家の実現は自分達の教育の力によるものであると吠える。その成果は？

教育基本法見直しを、日教組委員長が、教育研究集会で批判した。最近相次ぐ少年事件には目を覆うばかりで、奉仕活動等はあまり効果はない。としながらも、不適格教員への対応策等の法律を整備して、あたらないといけない。そして「戦後民主的文化国家の実現は、自分達の教育の力によるものである」と吠えた。二十八日、子供と教師が車座になって話し合う分科会で、子供から校則でなにと火花を散らしていた。先生を見捨てないで、と悲鳴があがる。私の勝手と子供はいう。先生は日頃子供にやかましく言うが、先生はジャージであったり、スーツであったり、（多分制服のこと）職員室で菓子を喰ったり、こんな子供にしたのは、教師自身であり、学級崩壊もあつ

てあたり前、民主的文化国家の実現とは、責任や義務をなくし、権利ばかり主張、自分勝手な振る舞いをしながら、そんなの関係ねえ、日本古来の大和魂まで葬り去ることが民主主義とは知らなかった。

これこそ「ケータマゲタ」

歯止めかからぬ教員の暴走

二〇〇三年（平成十五年）六月十二日

大分県賀来中学校で、生徒指導の問題で同僚と対立（二年生副担任教諭43才と同僚教諭35才）生徒のしている前で刃物で大喧嘩となり一方が包丁を持ち職員室へ、その光景を目にした。教育の学校現場でのこと。教師にあるまじき犯罪と言わねばなるまい。

二〇〇三年（平成十五年）十一月十九日

大分県日田市内の中学校文化祭の打ち上げで教諭三十四才が生徒三十五人と焼肉店でビールを飲むと言う教師にあるまじき行為

二〇〇四年（平成十六年）一月二十四日

大分県南地区の高校の男性教諭四十才が教え子と性的関係を持ったとして懲戒免職になる（県として懲戒処分四十一人、免職八人）

二〇〇四年（平成十六年）二月十五日

佐伯市鶴城高校教諭四十四才がソニック五十七号の列車内で、乗客の手提げバッグ（現金七〜八万円入り）を盗み逮捕

教諭が子供をいじめ

二〇〇三年（平成十五年）十月九日

福岡県西区の市立小学校四年男児九才が担任の教諭四十六才から、いじめられ自殺を強要され心的外傷ストレス障害になったとして、男児と両親が教諭と福岡市に合計一、三〇〇万円の損害賠償を求める訴訟を十月八日地裁に起こした。又、下校時に鼻血が出るほど鼻をつまみ、ピノキオ等の五つの刑と称し暴力をされ、子供は震えや吐

き気が続き、自分は生きる価値がないと言う。

全国から五〇三名の弁護士団が結集した事件。

二〇〇四年（平成十六年）七月十二日

大阪府能勢町市立石橋南小教諭、川瀬正博五十五才が六年生女子児童二人を誘拐

二〇〇四年（平成十六年）八月二十日

大津市南郷レンタルビデオ店で誘拐未遂の教員を逮捕した。つかまえてみれば石橋南小の川瀬正博であった。二度も

二〇〇四年（平成十六年）十二月六日

大分市中津商業高校教諭藤原仁二十三才は女子高校生とみだらな行為をしたとして逮捕

教育基本法の改正反対者の猛省を促す

二〇〇六年（平成十八年）五月二十二日

今国会で教育基本法の見直しが論議されている。何れ改正される事と思うが、当県では国民統治の手の手段でないと、四十の団体が見直しに反対すると運動に立ち上がった記事が今日の大分合同新聞に出ている。反対する人は現在の日本社会が今如何なる状況であるのか（治安一つとつても）ご存知ないのではないか。

戦後六十年の間、占領軍に押し付けられた憲法、又教育基本法により、アメリカ式の民主主義いわゆる自由主義を謳歌した日本人は、今一番大切な人間としての「心」を失ってしまったのです。

その結果が現実には、日本社会で毎日起きている悲惨な事件が証明しているではありませんか。国民を守り国体を維持する為には、人作りをしなければなりません。これからの日本を背負うてたつ、子供の教育に待つしかないのです。

国家が教育を国民や社会を統治するための手段としていことがいけないと言われるが、国が責任を持って統治しなくて、誰に頼んで誰が統治するんですか。法治国でなく勝手気ままな自由がそんなに欲しいですか。

日本が侵略戦争を行ったという事を、歴史にとどめることによって、アジア侵略の正当性を誇示する戦勝国の罫にかかった日本。それが半世紀をすぎても、まだ日本は犯罪を犯したのだと、子弟に教えている故、ゆがめられた罪悪感を背負って、卑屈な頹廢に流れ、親が子を殺し、子が親を殺し、誰でも一度殺して見たかったと。

これが本当の自由社会でしょうか、現在の大人では日本の再生は出来ないので将来日本を正常にもどすには、教育基本法の改正しか道はないのです。

二〇〇一年李鵬代表が言った、日本は二十年後には地球から消えると。消えない為にも子供にこれからの日本を託そうではありませんか。

いじめは教師にも伝染していた

二〇〇六年（平成十八年）十二月十九日

静岡のある中学校で、女生徒の兄に障害者がいることで、担任の教師がその子供に、お前はそんな家庭に育ったからと、勉強も別室で一人で勉強しろと言われた。

平成五年中学卒業アルバムに、教師が英語で「羊の群れには一匹位は黒い羊がいる」「人のむれにも一人位は変り者がいるものだ」とサインしている。又他の子供にその

子をさけるように言っていたとも。「ケータマゲタ」ね。

教育現場にこんな教師がいるとはびっくり、それでその子は三年間孤独であった。精神的にも病んでしまったと。これは十九日の、みのもんたの朝テレで知った。驚きだ。

担任教師と教育委員会を訴えた所、教育委員会は全面的に争うと言うのである。

子供の虐待や、はじめによる殺人等で、学校や、子供社会で大きな問題になっているとき、人を教え導く立場の教師としてあるまじき行為と言わねばなるまい。

教育基本法 防衛庁を省に昇格

二〇〇六年（平成十八年）十二月十五日

参議院本会議で両改正案が可決され防衛省は一月九日から始動することとなった。

自衛隊の海外派遣、PKO、PKF、イラク等に自衛隊を出したが、何れも憲法九条の制約があり政府はこれまで、拡大解釈をして国民を騙し続け派遣したもので、幾等法を無視して作った所で、憲法が国の基本である以上、憲法の改正以外出来なかつた事である。GHQから戦後押しつけられた憲法であり、日本独自の自主憲法を早急

に作らなければならない。そして日本をとりまく現在の危機的状況の排除と国の安全の為、精鋭なる軍隊を、守りに配置しなければ、国の存続はあり得ない。

又教育基本法についても愛国心を重視したことは当然なことで、国が愛国心を強制することは、個人の自由を束縛するものと反対する者がいるが、それは強制しなくても国は当然ながら愛しますと言うのか、それとも絶対に愛せないと言うのか。愛せないと言うなら自分の好きな国へ行けば良い。自然に愛すると言うのであれば、基本法で愛国心と言う文字があつても一向かまわないのでは。

現在家庭が崩壊し又社会も同じ、今国を立て直さないと本当に世界の孤児になりますよ。孤児にならない為に自立し、二法案が可決されたものと思われます。

情操徳育ある人間、教養ある人間社会が出来た時日本は安泰であります。一朝一夕には出来ません。それは基本法による教育を受けた者達の物であり薔薇色の社会であります。

現職校長暴走

二〇〇八年（平成二十年）三月九日

埼玉県川口市立川口高校の現職校長、市川和夫五十六才が教え子との間でわかれ話から十九年十一月以後、校長室よりその女性にメールを送っていたことが判明した。続けているの交際要求は極めて執拗で、何があっても知らないよ、人を殺すことは平気だよ。又手紙でも私生活を他人へバラす等の脅迫をしていたとは「ケータマゲタ」常識で考えられますか。

人を教育するしかも現職校長が勤務中、校長室からの行為ですよ。先生、即ち教師とは何をする仕事なのか、全く知らない、わきまえてないのか、そんな人間をよくも教育委員会は採用したものだ。

世は正に日進月歩人間まで戦前と戦後では真反対になったようで、戦前派は情けないよ。

全国で教員のセクハラは年間一一七六人で内一六八人が処分された。

○一年日教組の教育研究集会で現在の民主国家の実現は自分達の教育の力によるものであると豪語。その教育を受けた市川和夫校長であった。

今だに高校で偏向教育

二〇〇四年（平成十六年）六月

愛知県の県立高校で、日本史の中間試験で、イラク戦争についてどう思うか、と問う記述で、イラクへの自衛隊派遣に肯定的な回答は〇点とし否定的な回答は五点とし生活態度などを評価する平常点に配点していたことがわかった。

戦後日教組は戦前戦中の教育は偏向教育だったと言い、日本軍は中国や、東南アジアの国々を侵略したと子供に教えた為、現在の社会が構成され、平和教育をしながら、現在の世の中和平になっただろうか。いやその反対で、日本全体が、自分勝手な行動で人権を振りかざし、義務を果さず、欺瞞の世の中になってしまったではないか。

戦後の日教組こそ、偏向教育をしたのではないか。

自由を唱えながら、子供が自己の発想で、イラク派遣を肯定しようが、否定しようが、良いではないか。その回答を前者を〇、後者を五とした教師は、教育者として不適格で、これこそが偏向教育でなくて何と言うのか。

即、点数で評価するのではなく、イラク派遣が、どんな状況下で、又事情で、派遣に

至るまで、国連や米国や他の国や日本を含め、どんな話し合いがあり、如何なる理由で、イラク戦争が始まり、我が国は自衛隊を派遣しなければならなかったのか、先生はそれを教えてこそ教師ではないのか。唯試験で決めるやり方でなく、子供の意見を聞き、その上で詳しく説明教育してほしかった。そして真実を話し問題提起をし子供は派遣が是か否かはそこから考えれば良い。人それぞれ考えは違うものだ。だから思想を点数で決め付けてはいけない。束縛はいけない。

二十年三月二十日合同の朝刊に愛媛県陸上競技協会の理事長を務める愛媛県立伊予高校の男性教諭五十三才が県の補助金から支出される強化合宿の交通費の領収書を生徒に署名させ偽造していた事が報道されていた。

教諭は昨年四月陸上部の部員を昼休みに体育館に集め、領収書に鉛筆で下書きした署名をペンでなぞらせたもの。水泳連盟に補助金の不正があり、その調査中に発覚したものの。今世はあげて偽装欺瞞の騙し合いの社会とは言え、教師たる者不正を教えるとは「ケータマガタ」教師側に如何なる理由があるにせよ、正、不正がわからないようでは、どうしようもない。偽調書に印をつかせるようなことはやめて貰いたい。

入学式で君が代伴奏命令を拒む

二〇〇七年（平成十九年）二月二十七日

東京都日野市立小学校の入学式で、校長の職務命令に反し、君が代の伴奏を拒んだ為、戒告処分を受けた音楽教諭の女性五十三才が「思想良心の自由侵害」として都教育委員会の処分取り消しを求めた訴訟判決で、東京高裁は原告の上告を棄却した。

世の中には数えきれない程、規制や規約やルールがある。学校にも校長に与えられた職務規定があり学校運営がなされている。

その枠の中に入れば当然校内に於ける規制にしたがわなければいけないのではないのか。自分の思想に合わないから、考えと違うからと言って、伴奏を拒んで良いのか。行事や計画や物事の協議の場での建設的な意見は当然で、大いに結構だが今回の場合拒む程いやで仕方ない職場であるなら、自分の好きな所へ転職するしかないのでは。多くの先生方が自分勝手な行動をとれば学校は成り立たないのである。正に学級崩壊でなく学校崩壊である。

音楽教諭は「内心の自由に踏みこむな」と言うが規律を守らねばどうなる。例えば便所は一定の場所に設置してある便器であるとあるが、心の自由として校庭の涼しい木の

下でするのが一番気持ちが良い。又生徒も自由に放便したら、それが心の中の自由主義と言うのか。

園児の列にケイタイ電話を使いながら突込んで多くの死亡事故を起こす運転手も自由として許されて良いのか。

日の丸や、君が代が戦争したと思っっている人がまだ居たのか、「ケータマガタ」もんだ。